

はじめに

本市では、これまで地球温暖化対策として、「上越市地域新エネルギービジョン」や「上越市地域省エネルギービジョン」を策定し、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入やE S C O事業などの省エネルギーの取組を積極的に推進してきました。

しかし、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災後のエネルギー危機を経る中で、その取組をより一層強化する必要があると認識したことから、「環境にやさしいエネルギーの導入・普及」を私の公約の一つに掲げているところです。

一方、国も震災と福島第一原子力発電所事故を契機として、これまでのエネルギー戦略について白紙からの見直しを進めており、去る 2 月 25 日にエネルギー基本計画の政府案を公表しましたが、その中では今後再生可能エネルギーの導入を積極的に推進していく方向を示しています。

こうしたエネルギー情勢の変化に対応し、地球温暖化対策にも資する再生可能エネルギーの導入に当たっては、地域の特性を活かしたエネルギーの選定や、地域への波及効果を高める必要があります。

そのため、市がこれまで取り組んできた成果や課題を踏まえ、今後どのように再生可能エネルギーの導入推進を図っていくか、その基本的な考え方を示す基本方針を昨年度に策定し、今年度はこの基本方針に基づく具体的な導入計画を策定しました。

基本方針においては、低炭素都市への転換、再生可能エネルギーを活用した地域の活性化、災害時に強い安全・安心なまちづくりを柱とし、上越市に適した 6 つのエネルギー源を積極的に導入推進すべきとして選定しました。

また、導入計画では、基本方針に基づいた具体的な取組を示し、平成 32 年度までに、平成 24 年度までの導入実績に比べ約 10 倍の導入量を実現することを目標としています。

計画の実現に向けては、市が積極的に再生可能エネルギーを導入することで市民や事業者の皆さんへの導入や普及に努めるなどとしており、低炭素都市への転換など基本方針に掲げた目的の実現に向け、取り組んでいきたいと考えています。

上越市長 村山 秀幸